



## ささやま老人保健施設が 「令和6年度 優良防火対象物」として表彰

ささやま老人保健施設は、高い防火管理意識のもと火災予防に取り組む姿勢を評価され、丹波篠山市防火安全協会より「令和6年度 優良防火対象物」として表彰されました。今後もより一層、篠山キャンパス全体で施設の防火・安全に努めてまいります。



## 2024年度秋季学位授与式を挙

2024年9月21日、兵庫医科大学神戸キャンパスのオクタホールにて「2024年度 兵庫医科大学秋季学位授与式」を挙行し、薬学部医療薬学科の卒業生34名が参加しました。当日は、卒業生一人ひとりに対して学位記が手渡された後に、鈴木学長による式辞が述べられました。



## なるほど医学体験！ HANSHIN健康メッセ2024に出展

2024年9月21日(土)、阪神甲子園球場にて阪神電気鉄道株式会社主催による「なるほど医学体験！HANSHIN健康メッセ2024」が開催されました。本学は特別協力として、内視鏡センターによる「胃の中をのぞいてみよう～胃カメラ体験～」とリハビリテーション学部による「全集中！呼吸の力を調べてみよう！」の2つのコーナーを設け、多くの参加者に体験していただきました。



## 地域交流プロジェクト およこ性教育を開催

2024年8月18日、神戸市立東灘図書館で「およこ性教育」を開催しました。

この講座は未就学児とその保護者を対象とし、包括性教育を行うもので、本学卒業生も一緒に活動しています。

当日は2歳から6歳の子どもと保護者が参加し、胎児袋を使った出産体験やパネルを使ったプライベートパーツの学習など、命そして自分を大切にすることを楽しく学ぶ有意義な時間となりました。



## 2025年4月より、博士後期課程を設置 ～大学院 看護学研究科とリハビリテーション科学研究科

大学院 看護学研究科およびリハビリテーション科学研究科の博士後期課程設置申請について、2024年8月29日付で文部科学省からの設置認可を受けました。両研究科の博士後期課程は、高度な専門性を持つ人材の育成を目指し、日本の医療保健福祉分野の発展に寄与することを目的として、2025年4月に開設を予定しています。各科の概要は下記の通りです。

### 看護学研究科

| 概要         |                          |
|------------|--------------------------|
| 名称         | 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程      |
| 入学定員(収容定員) | 2名(6名)                   |
| 修業年限       | 3年                       |
| 学位         | 博士(看護学)                  |
| 設置場所       | 神戸キャンパス(神戸市中央区港島1丁目3番地6) |

### リハビリテーション科学研究科

| 概要         |                                     |
|------------|-------------------------------------|
| 名称         | リハビリテーション科学研究科 リハビリテーション科学専攻 博士後期課程 |
| 入学定員(収容定員) | 2名(6名)                              |
| 修業年限       | 3年                                  |
| 学位         | 博士(リハビリテーション科学)                     |
| 設置場所       | 神戸キャンパス(神戸市中央区港島1丁目3番地6)            |



## 第5回CNS/CN活動実績報告会を開催

2024年8月29日に「第5回CNS/CN\*活動実績報告会」を開催しました。教育講演では関西医科大学 医学部 西垣 悦代 教授をお招きし、専門看護師や認定看護師として働く上で必要とされるレジリエンスについてご講演いただきました。続くポスター発表では、さまざまなテーマで発表を行いました。各キャンパスから多くの看護師や学生が参加し、1日をかけて積極的に意見交換しながら交流を深め、充実した会となりました。

※日本看護協会が認定する専門看護師(Certified Nurse Specialist)、認定看護師(Certified Nurse)のこと。患者さんのニーズの多様化や技術の進歩による医療の高度化、専門分化が進む医療現場において、それぞれの分野で専門性を発揮しながら、チームの一員やリソースナースとして活動している。



## 事務局未来塾講演会を開催

2024年8月23日、株式会社日経サービス代表取締役社長 嶋田 有孝 氏をお招きし、事務局未来塾\*講演会「これからの若手職員に求められること」を開催しました。若手職員の働き方についてどのような意識改革が必要かなど、多数の事例を交えながらご講演いただき、若手職員はもちろん幅広い職員にとっても貴重な機会となりました。

※事務局未来塾…将来本学事務局の中心的な役割を担うことを志向する若手職員に対して、本学への理解及び事務局業務の把握を促進するとともに、困難な業務の遂行及びリーダーとして組織を率いるための基礎の習得を図ることを目的とした勉強会のこと。



## 本院の管理栄養士が送る「ゆる〜く応援 プチレシピ」を公開〜

阪神電気鉄道株式会社が実施する沿線価値活性化プロジェクト「エンカチ」の特設サイトで、当院の管理栄養士が手掛けるレシピコラム(美人レシピ)が、2024年7月よりリニューアルされ「頑張るあなたをゆる〜く応援!プチレシピ」として新たに連載を開始しました。誰でもいつでも簡単にバランス良く作れる時短レシピを紹介します。



## 「小学生のためのお仕事ノート」に当院が掲載

2024年7月31日に発行の「小学生のためのお仕事ノート(2024年度版・中学年用)」に当院が掲載されました。本誌は文部科学省が推進するキャリア教育の副教材として西宮市後援のもと、西宮市の公立小学校の3・4年生に配布されます。本誌では、大学病院の特徴や院内で活躍する様々な職種について紹介しました。



## 市民の健康増進と地域の活性化を目指す 兵庫県洲本市と協定を締結

本学と兵庫県洲本市は、8月21日に「地域連携協力に関する協定」を締結しました。この協定は、地域福祉や教育の分野においてそれぞれが持つ人材や知識、情報などの資源を活用し相互に協力することにより、市民の健康増進と地域の活性化に寄与することを目的としており、実現に向けて具体的な取り組みを進めてまいります。



## 夏休みの自由研究を一気に解決 医学部と薬学部による合同企画化学実験教室を開催

2024年8月10日、神戸キャンパスで、「化学実験教室」を開催しました。医学部 化学の福島 和明 教授による「万華鏡を作ってみよう!」では、子どもたちが紙コップで思い思いの万華鏡を作成し、お父さん、お母さんも興味津々でした。また、薬学部 化学系薬学分野の岩岡 恵実子 教授による「バスボムを作ってみよう!」では身近な片栗粉や重曹、クエン酸でバスボムを作り、実際に化学反応を見てもらいました。参加した保護者からは、子どもに医療系の職種を勧めたいなどの感想がありました。



# OUR CREW

兵庫医科大学のUI(ユニバーシティアイデンティティ)で策定したスローガン「EMPOWER THE PEOPLE～心に響く医を、私たちがいるかぎり～」を実践している兵医ファミリーを紹介。  
今回は本学で造血細胞移植コーディネーター(HCTC)として活躍する川口さんのエピソードを紹介します。

兵庫医科大学病院  
血液内科／看護部  
学会認定専門  
造血細胞移植コーディネーター

かわ ぐち ま り こ  
**川口 眞理子**

造血細胞移植コーディネーターとして、白血病や悪性リンパ腫などの疾患がある患者さんの意思決定をサポートする川口さん。様々な職種のスタッフと連携しながら、ご家族やドナーを側で支えている。

EMPOWER THE PEOPLE BY

## 寄り添うよろず相談

## 移植チームと患者さんに寄り添い、 看護の領域を超えたサポートを

### 辛い現実直面する患者さんはもちろん、 ドナーや周りのご家族も支える

前の病院では血液内科の看護師として勤務しており、移植看護に興味を持ちました。そんなとき血液内科の先生から「造血細胞移植コーディネーター(HCTC)という職種が海外には存在する。あなたもやってみないか」と声をかけていただき、勉強を始めました。HCTCの主な仕事は、造血細胞移植を検討している患者さんの意思決定をサポートし、移植への準備を整えることです。この移植は受けること自体に命を落とすリスクがあり、無事に退院してもその患者さんが完治する保証はありません。ですので、移植を受けるかどうか考えることそのものに大きな心理的負担が生まれます。少しでも不安を減らして患者さん自身が未来を選択できるようにすることが、私の仕事だと考えています。

また、ご家族を支えることも重要です。特にドナーになるかどうかの意思決定は非常にプレッシャーがかかります。ドナーになることにもリスクがありますし「自分の血液が合わなかったら」と悩む方もいます。医師と直接話すのではなく、HCTCが間に入ることで自由に意思表示しやすい環境を作っています。

さらに移植後の患者さんの生活のサポートも行います。患者さんが社会人であれば就労支援、学生さんであれば学校側とリモート授業の調整をすることもあります。自分の仕事はここまで、と決めることなく患者さんの生活に寄り添い、何でも相談に乗るのがHCTCなのです。



### この人なら何でも相談できる、 と思っていただけの雰囲気づくりを

大切にしていることは2つ。1つは、病状や移植、その後

の生活のことまで正確に、かつ過度に不安にならないような伝え方をすることです。もちろん医師からの説明もありますが、それだけではイメージしにくいことや、深刻に捉えすぎてしまうことがあります。事実をできるだけ噛み砕いてお伝えすることはもちろん、将来に希望を持てるようなお話を交えることで、患者さんが過度に不安を感じることをないようにサポートをしています。

もう1つは、親しみやすく何でも相談できるような雰囲気を作ることです。患者さんにもご家族にも、医師に直接伝えづらいことがたくさんあると思います。私が間に入ることで、そうした気持ちを汲み取っていただけたらと思っています。のためにできるだけ笑顔で接したり、忙しそうにせず話しかけやすい雰囲気を作るようにしています。この人なら何でも話していいんだ、と思ってもらえるように努めています。



### 思いを次世代につなぐ大切さを、 患者さんから学んだ

今後の目標は後進を育てることです。患者さんの中には「自分がうまくいかなかったとしても、次の人に自分の治療の経験を活かせるかもしれない」と言って移植を受けられる方もいます。そんな思いに触れて、次の世代につなぐことの重要性を知りました。患者さんやドナー、ご家族との貴重な経験やたくさんの思いをHCTCを目指す後進にも伝えていきたいと考えています。

HCTCは全国的に見てもまだまだ少なく、兵庫県下では学会認定を受けているのは7名です。しかしとても重要度の高い仕事だと思いますし、移植後、長期経過された患者さんやそのご家族から連絡をいただけたときには大きなやりがいを感じます。もちろん難しいこともたくさんありますが、この仕事の良さを次世代に伝えていきたいです。

# 丹波市山南町を再び薬草の一大産地に 当帰葉による血行改善と地域振興

江戸時代には薬草の一大産地であったと言われる丹波市山南町。

この地を再び薬草の力で盛り上げるのが、前田教授・石崎非常勤講師が進めるプロジェクトの目的だ。

着目したのは、血行改善の効能があるといわれる当帰。学生・教員・地域の人々が一体となって、

栽培から商品開発、販売までを行い、山南町の未来を切り拓く。

## 山南町を再び薬草王国へ

丹波市山南町は、かつて「薬草王国」とも言われた薬草の一大産地だったが、近年は生産者が減少。今ではここが薬草の産地だと知っている人も少ない。

そんな中、2014年に兵庫県の「薬草産地再生事業」がスタート。これに参加したのが前田教授だ。当時は当帰の栽培方法の改良やその効果測定が主だったという。

2017年には同じく兵庫県の「大学等との連携による地域創生拠点形成支援事業」に採択され、栽培方法の改良だけでなく地域創成のための商品開発・販売・広報といった取り組みも開始。現在は研究室の教員や学生、現地の山南町薬草組合トウキ生産部会が一体となって取り組んでいる。

## 実際の効果を重視

当帰は根に血行を改善する成分が多く含まれており、漢方薬の原料として昔から重宝されてきた。実は葉にも同じ成分が含まれているが、かつては薬事法\*の関係で医薬部外品としてしか扱うことができなかった。2012年、薬事法\*の一部改正により葉の部分の食用にすることが可能に。これによりお茶や入浴剤、パウダーなどに加工して販売することが可能となった。

「『血行を改善する成分が入っているから効果がありますよ』ではなく『実際に効果があった』というところに落とし込みたい」。それが前田教授の方針だ。そこで地域の70歳以上の方の協力を得て、当帰葉を用いたお茶や入浴剤を使用した後の灌流指標をパルスオキシメーターで測定。日本茶と比較して有意に血流が良くなっていることを明らかにした。さらに、灌流指標が低い人にはより高い効果が出たことから「冷え性の人を選択的に」効くということ

も分かった。このエビデンスが本プロジェクトの盛り上がりを支えている。

## 学生や地域と関わりながら進める

こうした効果を広めるための企画に力を発揮するのが、元百貨店バイヤー・商品開発担当という異色の経歴を持つ石崎非常勤講師。学生と共に現地の生産部会に年10～15回ほど足を運び、これまでに多くの商品を開発。イベントも多数実施してきた。コロナ禍でイベントが開催できない時期にはレシピブックを制作。このレシピブックは後に株式会社神姫トラベルが手がけるツアーガイド冊子にも活用されている。

現地に足を運び、生産者と直接会話することは学生にとって得難い経験だ。「近年の薬学教育は対人コミュニケーションも非常に重要視されていますから、そういう点でも学びは多いですね」と前田教授もうなずく。

活動が長くなるにつれて、生産部会の反応も変わってきた。これまでは当帰栽培の担い手は減る一方だったが、当帰の薬効の研究を裏付けとしたプロジェクトの盛り上がりによって、40代の若手の生産者が増えた。プロジェクト開始時点では10名に満たなかった生産者が、今では徐々に増加しているという。また兵庫県下のマルシェや百貨店へ出展するなど、当帰葉を広めることに積極的な生産者も現れている。

前田教授は「今後は地域と生産部会が主体となって活動できるように尽力したい」と語る。地域創成は一時の盛り上がりではなく、持続的に発展することが重要。そのためには地域自ら動くことがキーポイントとなる。「今後は地域で要となる人を育てていきたいですね」と石崎非常勤講師。山南町の「地域」と「人」が当帰葉と共に育っていく姿に、今後も注目したい。

※2014年に薬機法へ改正

兵庫医科大学 薬学部 医療薬学科 物理系薬学分野

非常勤講師 石崎 真紀子 教授 前田 初男

研究テーマ 当帰葉の市場性・効能効果の再発見

研究目標 当帰の栽培や、その葉を用いた商品開発などによる丹波市山南町の地域振興

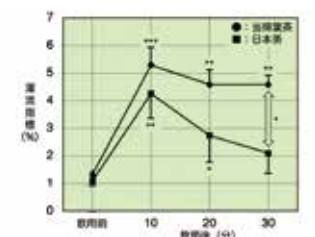
KEY WORD

当 帰 葉

JAPANESE ANGELICA

当帰は冷え性や血液循環の改善に効能があるとされるセリ科の植物。主に根が漢方薬の原料に用いられるが、葉にも薬効成分が含まれている。2012年の薬事法改正により葉を食用として販売することが認められ、企業や研究機関などから注目を集めている。

指先の血の巡りが芳しくない人に対して当帰葉茶が日本茶より指先の血流を持続的に改善した結果



2024年度 科学研究費助成事業 交付状況一覧

2024年度 科学研究費助成事業206件 総額3億226万円が交付されました。なお、昨年度の採択件数は196件、総額3億334万円でした。

| 研究種目                  | 新規(単位：件) | 継続(単位：件) | 交付件数(単位：件) | 交付総額 (単位：円) |
|-----------------------|----------|----------|------------|-------------|
| 新学術領域研究               | 0        | 0        | 0          | 0           |
| 基盤研究 (S)              | 0        | 0        | 0          | 0           |
| 基盤研究 (A)              | 0        | 0        | 0          | 0           |
| 基盤研究 (B)              | 6        | 9        | 15         | 71,370,000  |
| 基盤研究 (C)              | 51       | 84       | 135        | 178,620,000 |
| 挑戦的研究 (開拓)            | 0        | 0        | 0          | 0           |
| 挑戦的研究 (萌芽)            | 0        | 2        | 2          | 3,770,000   |
| 研究活動スタート支援            | 3        | 3        | 6          | 8,060,000   |
| 海外連携研究 (旧)国際共同研究強化(B) | 0        | 0        | 0          | 0           |
| 若手研究                  | 13       | 32       | 45         | 59,540,000  |
| 奨励研究                  | 3        |          | 3          | 1,230,000   |
| 合計                    | 76       | 130      | 206        | 322,590,000 |

2024年度 厚生労働科学研究費補助金 交付状況一覧

| 研究事業名       | 研究課題名                      | 研究代表者                   | 交付総額       |
|-------------|----------------------------|-------------------------|------------|
| エイズ対策政策研究事業 | HIV感染血友病患者の救急対応の課題解決のための研究 | 呼吸器・血液内科学（血液内科）<br>日笠 聡 | 10,660,000 |
| 計(1件)       |                            |                         | 10,660,000 |

2024年度 労災疾病臨床研究事業費補助金 交付状況一覧

| 研究事業名      | 研究課題名                 | 研究代表者           | 交付総額        |
|------------|-----------------------|-----------------|-------------|
| 労災疾病臨床研究事業 | 光免疫療法の中皮腫への適応拡大を目指す治験 | 胸部腫瘍学<br>長谷川 誠紀 | 113,011,000 |
| 計(1件)      |                       |                 | 113,011,000 |

2024年度 日本医療研究開発機構研究費 配分状況一覧

| 事業名                      | 研究開発課題名                                             | 研究代表者                     | 交付総額        |
|--------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------|-------------|
| 創業支援推進事業<br>創業総合支援事業     | 自己免疫制御を機序とする新規シェーグレン症候群治療薬の探索                       | 遺伝学<br>西浦 弘志              | 5,000,000   |
| 研究公正高度化モデル<br>開発支援事業     | 臨床研究者による活用を目指した臨床研究技能と研究公正の統合学修の実用化                 | 社会医学 データサイエンス部門<br>森本 剛   | 11,700,000  |
| 橋渡し研究プログラム               | Injectable cell scaffold (ICS-001) を用いた革新的血管新生療法の開発 | 先端医学研究所 分子細胞治療部門<br>山原 研一 | 104,000,000 |
| 医療機器等研究成果展開事業<br>開発実践タイプ | 強迫症を対象とした新規認知行動療法アプリ開発                              | 精神科神経科学<br>向井 馨一郎         | 26,000,000  |
| 難治性疾患実用化研究事業             | サルコメア構造と収縮性を回復させる新規特発性拡張型心筋症治療薬の開発                  | 生化学<br>塚本 蔵               | 26,000,000  |
| 計(5件)                    |                                                     |                           | 172,700,000 |

2024年度 その他競争的研究費等 配分状況一覧

| 研究事業名                 | 研究課題名                                  | 研究代表者          | 交付総額       |
|-----------------------|----------------------------------------|----------------|------------|
| PFASに関する総合研究<br>(環境省) | 免疫疾患におけるPFASの免疫抑制および免疫促進影響の解明に向けた実験的検証 | 免疫学<br>黒田 悦史   | 30,000,000 |
| 学術研究振興資金<br>(私学事業団)   | MHC class II 制御異常による炎症性疾患の探索           | 病原微生物学<br>石戸 聡 | 4,300,000  |
| 計(2件)                 |                                        |                | 34,300,000 |

◆兵庫医科大学 開学50周年記念事業募金 状況報告

「兵庫医科大学開学50周年記念事業」のための募金活動を開始し、教職員・名誉教授の方々をはじめとして、後援会（保護者）、同窓会（緑樹会、海泉会）、企業等法人、関連病院など幅広い方々から温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。ご協力賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

| ～2024年8月31日 |          |              |          |              |     |                |
|-------------|----------|--------------|----------|--------------|-----|----------------|
| 区分          | 受配者指定寄付金 |              | 特定公益増進法人 |              | 合計  |                |
|             | 件数       | 金額           | 件数       | 金額           | 件数  | 金額             |
| 申込          | 224      | 765,690,000円 | 642      | 317,428,888円 | 866 | 1,083,118,888円 |
| 入金          | 224      | 765,690,000円 | 642      | 316,193,888円 | 866 | 1,081,883,888円 |

寄付申込者ご芳名・法人名一覧(順不同)

後援会 (1団体)  
●ご芳名・金額記載 (1団体)  
兵庫医科大学医学部後援会 様 30,000,000円

その他個人 (1名)  
●匿名1名

教職員等 (1名)  
●匿名1名

新病院棟建設だより

現在新病院棟建設工事は2026年秋の開院を目指着々と進んでいます。  
2024年8月の工事状況をお伝えします。

◆主な工事内容

先月に引き続き、建物の基礎部分への免震装置の設置工事の施工中です。また、タワークレーンが2基設置され、免震装置上部躯体工事も進んでいます。  
今後は地下工事に必要であった作業用仮設床（構台）は全て解体され、タワークレーンによる工事が本格稼働します。



各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

今号では、神戸キャンパスからボーアイ4大学連携事業のイベントの様子をお届けします。

## ▶ ポーアイみんなのサイエンスカフェ

### 「液体の上を歩ける!?不思議な液体・ダイラタント流体」を開催



2024年8月17日(土)、神戸キャンパスでは地域の小学生を対象に、白衣を身にまとい、学生と一緒に水と片栗粉を用いてダイラタント流体を作る「サイエンスカフェ」を開催しました。割合によって異なる形状を観察したり、液体の上を走り抜けたり、その不思議な性質を体験することで科学を身近に感じ、興味を持てただけでした。

各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

今号では、梅田キャンパスで新たに導入された検査についてお届けします。

## ▶ 胃液を用いた ピロリ菌検査を導入



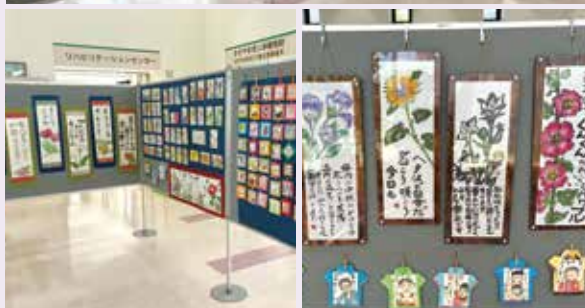
ピロリ菌感染の有無を判定する検査を保険診療で行うには、内視鏡検査(胃カメラ)を受け、ピロリ菌感染が疑われる病変があることを確認する必要があります。胃カメラの検査中に組織を採取する方法もありますが、当クリニックでは、吸い取った胃液を用いる検査を導入しています。PCR法による感度の高い検査で、ピロリ菌の抗菌薬(クラリスロマイシン)耐性も調べることができます。また、胃の粘膜を傷つけないため、出血リスクのある方でも安全に行うことができる検査です。

もちろん、人間ドックのオプション検査としてもお選びいただけます。

各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

今号では、篠山キャンパスで行われた絵手紙の作品展の様子をお届けします。

## ▶ 絵手紙展示グループ 「さつき会」による作品展を 6年ぶりに開催



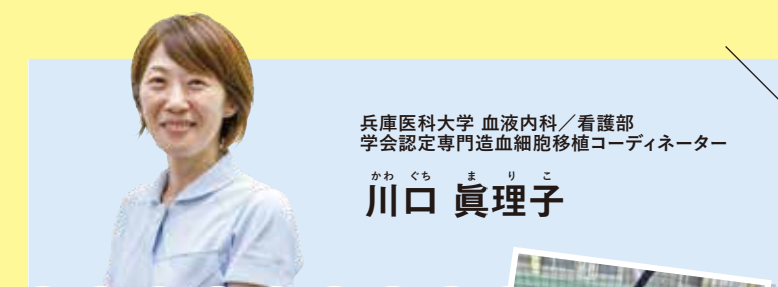
8月25日～9月6日、篠山キャンパスにて絵手紙展示グループ「さつき会」による作品展が開催されました。

この「さつき会」は2004年に結成され、現在7名で活動しています。新型コロナウイルスの影響で開催は6年ぶりとなりましたが、個性が光る約300点の絵手紙が展示されました。

## わたしを EMPOWER するもの

Vol.2

医療を通じて人を、そして社会をEMPOWERし続ける本法人の職員たち。このコーナーでは、そんな職員たちにとって欠かせないものを1つご紹介。「OUR CREW」で登場した移植コーディネーターとして活躍し、患者さんや周りのスタッフの信頼がとて厚い川口さんにお話を伺いました。そんな川口さんを支えるものとは…?



兵庫医科大学 血液内科/看護部  
学会認定専門造血細胞移植コーディネーター

かわぐち まりこ  
川口 真理子

### テニスに夢中

テニスで心も体も  
リフレッシュ☆



運動不足を解消するため、2年前に再開したテニス。仕事ではやりがいを感じることがある反面、気持ちが沈んだり、ストレスを抱えたりすることもあります。そんな時でもボールを打っていると暗い気持ちや雑念が払われて元気になります。また、テニスを通じ交流の輪が広がるのも楽しいですね。週1回でスクールに通いはじめたものの、今や週2～3回通うくらいにハマっていて、勤務時間内にも無意識にエア素振りをしていたり…お許しを!

OUR CREW はP19へ